

第 62 回京都大学 11 月祭全学実行委員会への提案

11 月祭事務局

1. 議事（案）

- (1) 諸提案
- (2) 第 64 回 11 月祭の日程に関する提案
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに関する提案
- (4) 第 62 回 11 月祭における飲酒問題対策に関する提案
- (5) 第 62 回 11 月祭における全面禁酒規則に関する提案
- (6) その他

2. 第 64 回 11 月祭の日程に関する提案

〔概要〕

近年大学当局が講義数確保の観点から 11 月祭の日程の短縮を打診してきており、11 月祭に伴う休講措置が確実に実行されるかにおいて不安が残る。また、ここ数年は東京オリンピックの関係からアカデミックカレンダーの決定が早まっている傾向があるため、なるべく早い時期から 11 月祭の日程を決定しておくことで、大学当局との交渉を優位に進める必要があると考える。

考えられる選択肢としては

19 日（土）～22 日（火）、片付け日 23 日（水・祝）

23 日（水・祝）～26 日（土）、片付け日 27 日（日）

の 2 通りがあるが、前者は休日が連続して配置しており、企画が開催しやすいというメリットがある一方で、Finale が平日開催になることに加え、片付け日が祝日になるため多くのレンタル業者が休業日だというデメリットがある。

そこで、以下のように提案する。

〔提案〕

第 64 回 11 月祭を以下の日程で開催すること。

2022 年 11 月 23 日（水・祝）～26 日（土）、片付け日 27 日（日）

〔参考〕

2022 年 11 月カレンダーの抜粋

19 日	20 日	21 日	22 日	23 日	24 日	25 日	26 日	27 日
土	日	月	火	水・祝	木	金	土	日

3. 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに関する提案

第 62 回 11 月祭を開催するにあたって新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン（以下ガイドライン）を定めることが決定されたが、その内容や特に実現可能性や実効性について検討するためには 11 月祭の実務的な知識や経験が必要となる。また、情勢によって内容の詳細が変わってくるものでもあるため、その都度全学実行委員会で承認を得るのは非効率的でもある。

したがって、全学実行委員会ではガイドラインの一部を実例として提示するに留め、11 月祭事務局が実務の範囲内でガイドラインを作成し施行することを提案する。

4. 第 62 回 11 月祭における飲酒問題対策に関する提案

〔概要〕

近年の 11 月祭において、参加者の過度な飲酒により、暴力行為・物品の破損・救急搬送などが多数発生しており、加えて盗難や痴漢などの犯罪行為が横行している。11 月祭本部は、泥酔者の発見・介抱などに人員を割かれ、円滑な運営に支障をきたしている。集団での一気飲みやそれを助長する行為もあり、健全な学園祭の雰囲気を乱し、他の参加者の安全を確保できない状態にある。第 59 回 11 月祭においては、11 月祭本部スタッフが飲酒により興奮状態にある参加者に注意をしに行ったところ、ビンで殴られるという事態も発生している。参加者・スタッフの安全が確保できないだけでなく、大学施設の汚損や器物破損など飲酒を起因とした問題は後を絶たない。また、11 月祭において過度な飲酒により救急搬送される参加者が複数名いるため、消防署や病院は大きな負担を強いられ、正常な業務に支障をきたしている。

第 60 回 11 月祭においては、当時初めて全日にわたり飲酒できる時間を制限したが、効果は限定的であった。規則に従わない参加者がおり、未成年者の飲酒も発覚した。過去には一時的に意識不明になった参加者も存在し、飲酒に起因した死者が出かねない状況であった。

その一方で昨年（第 61 回）11 月祭においては、大学当局の介入という側面はあったものの初めての全面禁酒が施行され、結果として泥酔者の発生及びそれを原因とする種々の問題は確実に抑制され、救急搬送者は近年初めての 0 件となった。全面禁酒の導入には多くの懸念点があったものの、飲酒問題対策として十分な効果があったことが確認できる。

以上を踏まえて、以下のように提案する。

〔提案〕

第 62 回 11 月祭において全面的に飲酒行為を禁止し、その実現に向けた対策をとることを提案する。

5. 第 62 回 11 月祭における全面禁酒規則に関する提案

別紙の通り、『全面禁酒規則』を定めることを提案する。